

6. 流域治水对策

木曽川水系流域治水プロジェクト

近年、全国各地で豪雨等による水害や土砂災害が発生するなど、人命や社会経済に甚大な被害が生じています。気候変動に伴い頻発・激甚化する水害・土砂災害等に対し、「流域治水」の考え方に基づいて、堤防整備・ダム建設・再生などの対策をより一層加速するとともに、集水域から氾濫域にわたる流域のあらゆる関係者で水災害対策を推進しています。

木曽川水系では、令和3年4月に、「木曽川水系流域治水プロジェクト」、令和6年3月には、流域治水の取組を更に加速化・深化させるため、「木曽川水系流域治水プロジェクト2.0」に更新しました。現在は、当プロジェクトに基づき各実施主体において様々な取り組みが進められています。

※木曽川水系流域治水プロジェクト2.0の詳細は以下をご覧ください

<https://www.cbr.mlit.go.jp/kisokaryu/ryuikichisui/index.html>

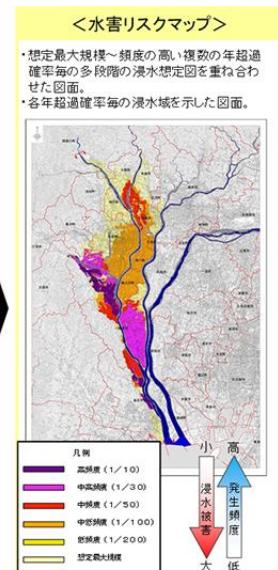
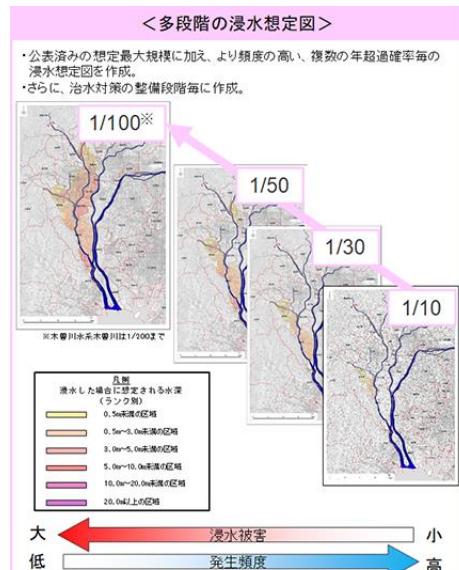


多段階の浸水想定図と水害リスクマップ

国土交通省で実施している取組の事例

『多段階の浸水想定図と水害リスクマップ』

- ・これまでに、土地利用や住まい方の工夫の検討および水災害リスクを踏まえた防災まちづくりの検討など、流域治水の取組を推進することを目的として、本川や支川の氾濫状況を示した水害リスクマップを公表しています。
 - ・今後は、公表済みの水害リスクマップに内水の氾濫状況をあわせた「**内外水統合版 水害リスクマップ**」を作成予定です。



木曽川水系における流域治水の取り組み(関係機関の取り組み)

①氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

◇「田んぼダム」による雨水貯留[関市等]

「田んぼダム」とは、水田に降った雨水を時間をかけてゆっくりと排水し、水路や河川の水位の上昇を抑えることで、水路や河川から溢れる水の量や範囲を抑制する取組です。

「田んぼダム」の排水イメージ



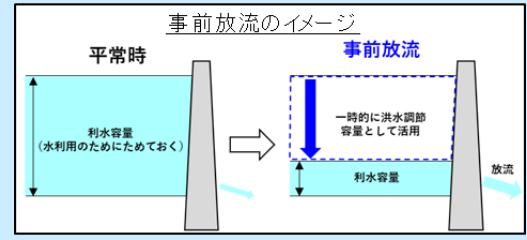
関市の取組状況



①氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

◇ダム事前放流[水資源機構等]

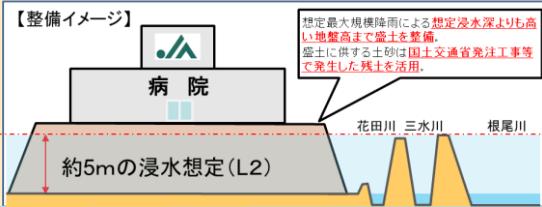
木曽川水系治水協定により、木曽川水系内の全ての既存ダム(45ダム)を活用して、事前放流を実施し、新たに最大約3億100万m³の洪水調節可能容量を確保しています。



②被害対象を減少させるための対策

◇拠点病院の地盤嵩上げ[JA岐阜厚生連]

想定最大規模の想定浸水深を考慮した地盤高を造成することで、被害を減少させるとともに、浸水時でも病院の機能継続ができるように安全性を確保しています。また、地震など大規模な自然災害発生時の災害拠点病院となる「救護病院」として指定する協定書を大野町等と締結しました。



③被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

◇防水板施設設置の補助制度[一宮市等]

浸水被害の防止や軽減を図ることのできる防水板施設の設置にあたり、市民や民間事業者が活用できる補助制度を設けています。



【補助の内容】
工事費総額の2分の1

写真:
民間事業者による
防水板の設置状況
(一宮市、いちい信用金庫)

7. 防災情報の提供

大雨などの際に、雨や河川の水位状況をインターネットを通じてリアルタイム配信し、避難判断等に必要な情報をパソコンやスマートフォンから入手することができます。

川の防災情報

地域の方々が自ら氾濫の危険性を知り、的確な避難行動に役立つよう利用者目線に立った情報を提供しています。

▼パソコン

<https://www.river.go.jp/>

▼スマホ

スマートフォン用
二次元コード



トップページ



木曽川上流河川事務所Webサイト

木曽川上流河川事務所のWebサイトでも木曽三川の各地点の川の映像や河川水位の情報をリアルタイムで見ることができます。

▼パソコン

<https://www.cbr.mlit.go.jp/kisajyo/>

トップページ



カメラ選択画面

映像と水位画面

テレビ[データ放送]で見る

データ放送で、岐阜県が提供する防災情報等と併せて水位情報等を見ることができます

対象放送局

NHK岐阜放送・メーテレ・ぎふチャン
ケーブルテレビ(CCN)

① テレビのリモコンの「d」ボタンを押す



② 「防災生活情報」を選択



③ 「河川水位情報」を選択



※画面はNHK岐阜放送局の例です